

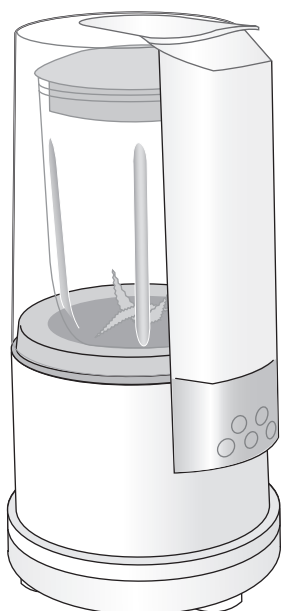


マイコン真空ブレンダー YMG-V1000

取扱説明書

もくじ

保証書付



- 安全上のご注意…………… ①～②
- お使いの前に…………… ③
- 各部の名称…………… ④～⑤
- 使いかた…………… ⑥～⑩
- お手入れ…………… ⑪
- 故障かな?と思ったら…………… ⑫
- 仕様…………… ⑬
- アフターサービスについて…… ⑭
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

家庭用


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。


- ・このたびは、弊社真空ブレンダーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水濡れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。



交流100V
15A以上

電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



根元まで差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外やお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火の原因になります。

警告



異常・故障時には、直ちに使用を中止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

[異常・故障例]

- 使用中、電源プラグやコード・本体が異常に熱くなる。
- 煙が出たりこげくさい臭いがする。
- 本体の一部が割れたり、ゆるみ・がたつきがある。



子供だけで使用したり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。



不安定な場所で使わない

けがをしたり、破損の原因になります。



運転中に移動させない

けがの原因になります。



調理以外の用途には使わない

けがをしたり、故障の原因になります。



すき間からピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作して、けがの原因になります。

注意



ボトルなど取り付け、取り外しは電源を切って電源プラグを抜く

けがの原因になります。



1回使用ごとに、お手入れをする

故障の原因になります。



水のかかる所や、火気の近くでは使用しない

感電や漏電の原因になります。



食器洗浄機や食器乾燥機は、使わない

破損の原因になります。



材料が多すぎたりして、運転が停止したときは、そのままの状態で使用しない

故障したり、破損の原因になります。



40℃以上の熱い材料をボトルに入れない

ふきこぼれてやけどしたり、ボトルが割れてけがの原因になります。



カッターを直接手で触らない

けがの原因になります。



使えない材料を入れない(P6参照)

故障したり、破損の原因になります。



空回ししたり、最小量(400mL)より少ない材料で使わない

故障したり、破損の原因になります。



最大量(MAX)を超える材料を入れない

故障したり、破損の原因になります。

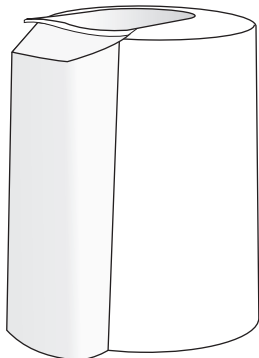
お使用の前に

- 初めて使うときや長期間保管していたときは、真空カバーやボトルを水洗いして十分に乾燥させてください。
- 本体とボトルの間に絶対水をいれないでください。
- 調理中、ブレンダーの上に物を置かないでください。
- ブレンダーを直火にかけたり、電磁調理器・電子レンジなどで使用しないでください。

各部の名称

真空カバー

確実に取り付けてください。



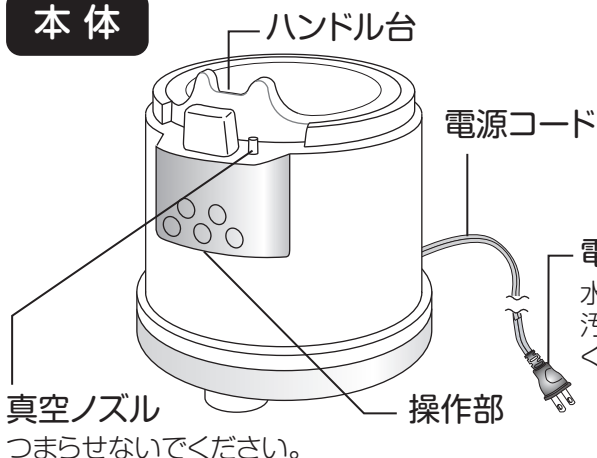
ボトル

ガラス製のため衝撃を与えたり急熱・急冷すると割れてけがをする原因になりますので、ご注意ください。



※耐熱ガラスではありません。

本体



MAX (約1000mL)

必ず、この目盛以下で使用してください。
※400mL以下では使用しないでください。

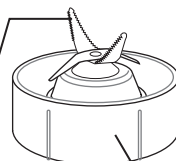
パッキン

確実にセットしてください。



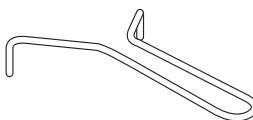
カッター

鋭利なため直接手を触れないでください。



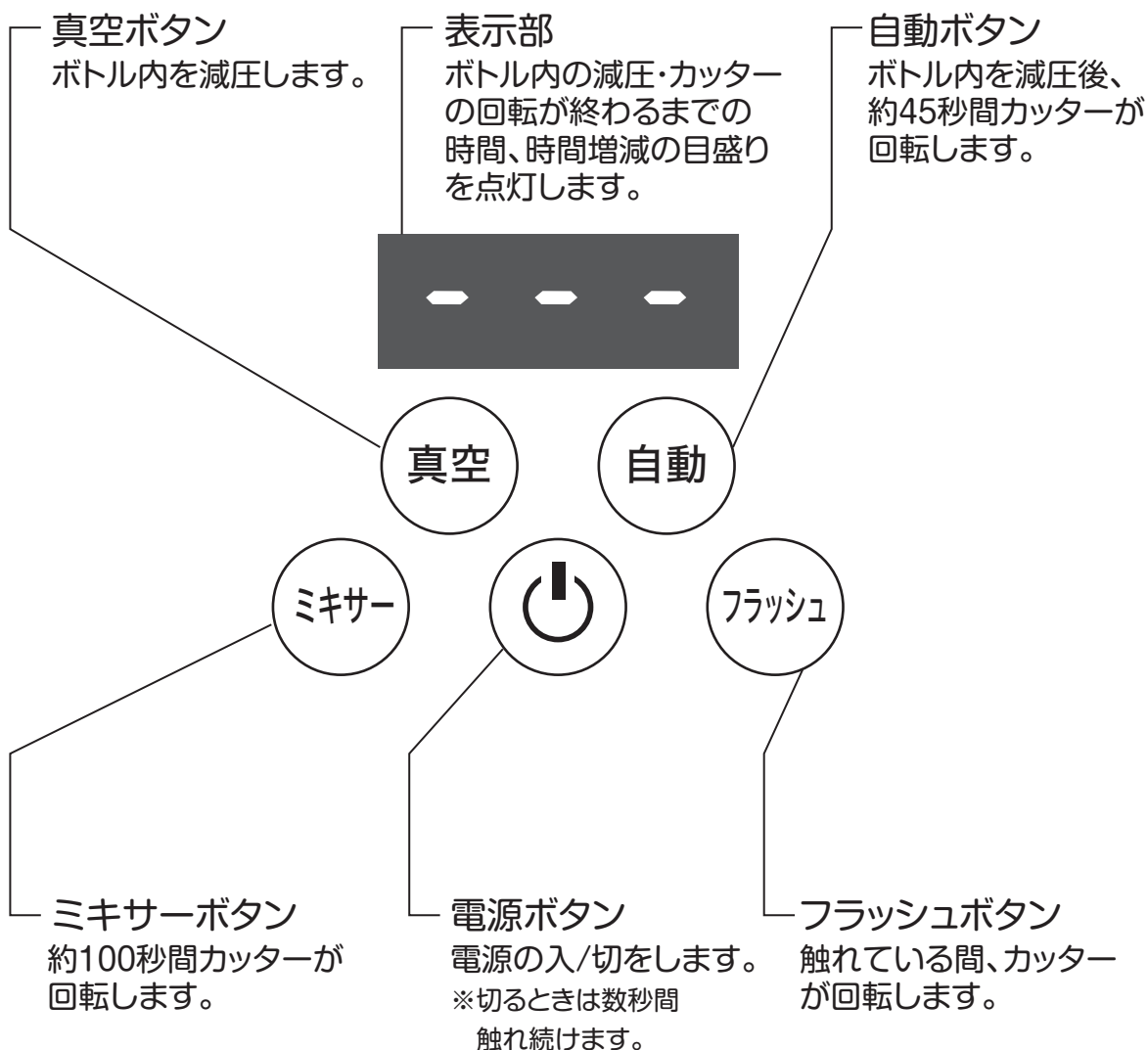
ボトル台

付属品: 取り外しレバー



各部の名称

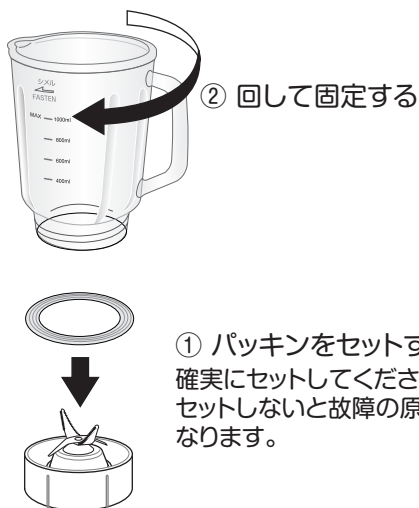
操作部



使いかた

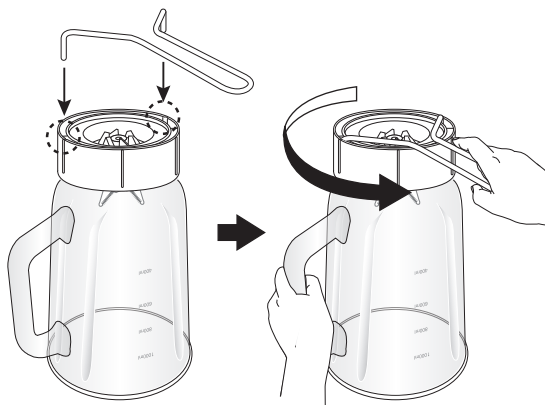
[ボトルの組み立てかた]

- ①パッキンをボトル台にセットします。
- ②ボトル台を押さえて
ボトルを時計回りに回します。
※傾かないよう、しっかりと固定してください。



[ボトル台の外しかた]

- ①ボトル台の穴に取り外しレバーを取り付けます。
- ②ボトルを押さえて取り外しレバーを反時計回りに回します。
- ③パッキンを取り外します。



※ご使用後は早めにお手入れしてください。

1 材料を準備する

- 果物は皮と芯を取り、2~3cm角に切っておきます。
(ニンジンなど固い材料は、1~2cm角に切ります。)
- 材料が熱い場合は、40℃以下に冷ましておきます。

次のような材料は使用しないでください。

カッターを傷めたり、モーターの故障の原因になります。

- ・肉類や魚介類
- ・粘り気のあるもの(やまいも・納豆など)
- ・乾物
- ・食品以外
- ・ロックアイス(コンビニなどで販売されているもの)
- ・冷凍食品

2 ボトルに材料を入れる

- 材料は、MAX(1000mL)以下の量にします。
※400mL以下の量で使わないでください。
- 「液体」→「水分を含む柔らかいもの」→「固いもの」の
順序で入れてください。
- 氷を加える場合、2.5cm角以下の氷を最後に少量入れます。
- 材料を入れた後、しっかりとふたで閉じます。

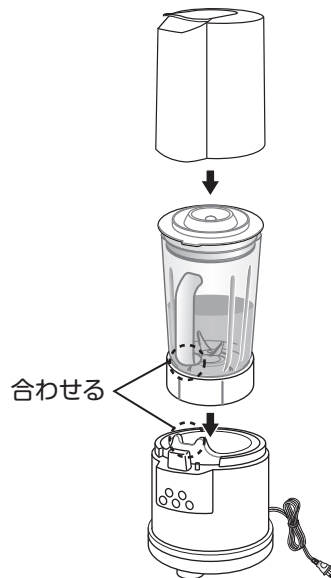
氷は家庭用冷蔵庫で作った氷を2~3個入れることができますが、
大量に入れるとカッターを傷めたりモーターの故障の原因になります。



ボトル内の減圧とカッターの回転を自動で行い調理します。

1 準備をする

ボトルを組み立て、材料を入れて、しっかりとふたで閉じます。(P6参照)

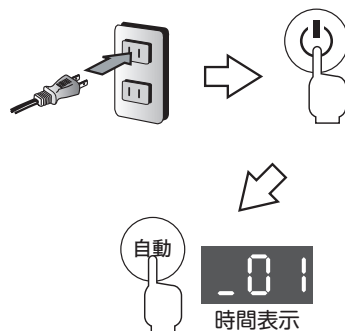


2 本体にセットする

- ①ボトルのハンドルとハンドル台を合わせて、傾きのないように本体にセットしてください。
- ②真空カバーを本体に強く押し付けるようにして、しっかりと閉めてください。

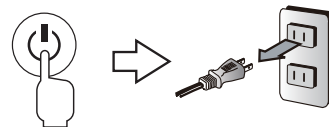
3 運転する

- ①電源プラグをコンセントに差し込み、「電源」ボタンに触れます。
- ②「自動」ボタンに触れると、ボトル内の減圧が始まります。
- ③減圧後、カッターの回転が始まります(約45秒間)。
※カッターの回転を途中で止めたいときは、「電源」ボタンに触れてください。
- ④ブザーが鳴りカッターの回転が終了します。



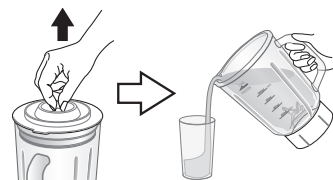
4 運転を終了する

「電源」ボタンに数秒間触れ続けて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



5 材料を取り出す

- ①真空カバーを外してください。
※ボトルが倒れないように注意してください。
- ②ボトルを本体から外してください。
- ③バルブを引き上げ、ふたを取り外してください。



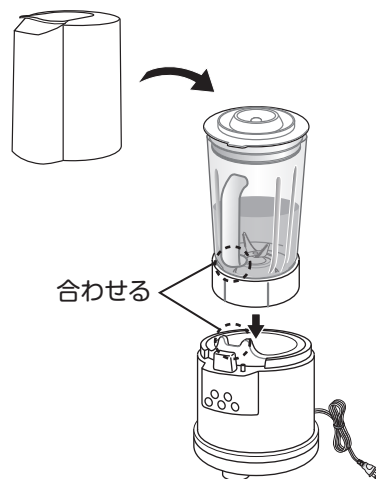
使いかた

手動調理(減圧あり)

ボトル内の減圧と、カッターの回転をお好みの時間で行い調理します。

1 準備をする

ボトルを組み立て、材料を入れて、しっかりとふたで閉じます。(P6参照)

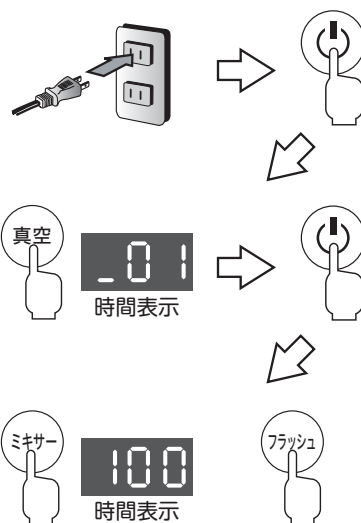


2 本体にセットする

- ①ボトルのハンドルとハンドル台を合わせて、傾きのないように本体にセットしてください。
- ②真空カバーを本体に強く押し付けるようにして、しっかりと閉めてください。

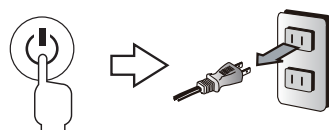
3 運転する

- ①電源プラグをコンセントに差し込み、「電源」ボタンに触れます。「真空」ボタンに触れると、ボトル内の減圧が始まります。
- ②ブザーが鳴ったら、「電源」ボタンに触れた後、「ミキサー」ボタンまたは「フラッシュ」ボタンに触れると、カッターが回転します。
 - ※「ミキサー」ボタン…約100秒間
 - ※「フラッシュ」ボタン…触れている間
 - ※カッターの回転を途中で止めたいときは、「電源」ボタンに触れてください。
- ③ブザーが鳴りカッターの回転が終了します。



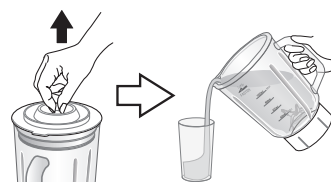
4 運転を終了する

「電源」ボタンに数秒間触れ続けて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



5 材料を取り出す

- ①真空カバーを外してください。
 - ※ボトルが倒れないように注意してください。
- ②ボトルを本体から外してください。
- ③バルブを引き上げ、ふたを取り外してください。



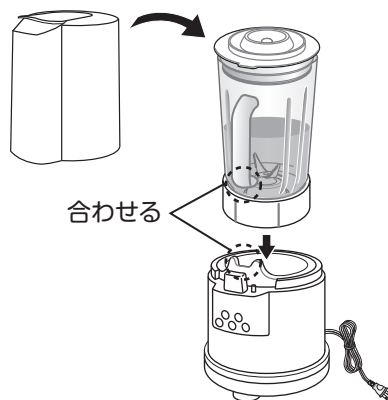
使いかた

手動調理(減圧なし)

カッターの回転をお好みの時間で行い調理します。

1 準備をする

ボトルを組み立て、材料を入れて、しっかりとふたで閉じます。(P6参照)

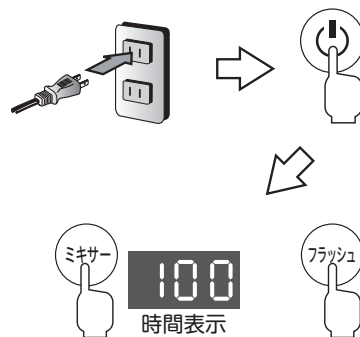


2 本体にセットする

- ①ボトルのハンドルとハンドル台を合わせて、傾きのないように本体にセットしてください。
- ②真空カバーを本体に強く押し付けるようにして、しっかりと閉めてください。

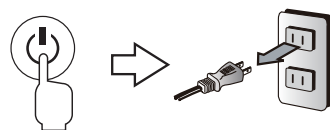
3 運転する

- ①電源プラグをコンセントに差し込み、「電源」ボタンに触れます。
- ②「ミキサー」ボタンまたは「フラッシュ」ボタンに触れると、カッターが回転します。
 - ※「ミキサー」ボタン…約100秒間
 - ※「フラッシュ」ボタン…触れている間
 - ※カッターの回転を途中で止めたいときは、「電源」ボタンに触れてください。
- ③ブザーが鳴りカッターの回転が終了します。



4 運転を終了する

「電源」ボタンに数秒間触れ続けて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



5 材料を取り出す

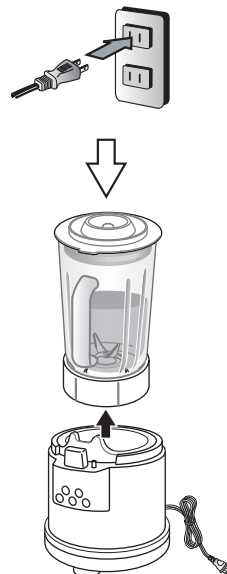
- ①真空カバーを外してください。
 - ※ボトルが倒れないように注意してください。
- ②ボトルを本体から外してください。
- ③ふたを取り外してください。



使いかた

[使用中に運転が止まったときは]

ボトルに投入した材料が大きすぎたり、多かったり、調理できない材料 (P6参照) が入っていると、モーターを保護する保護機能が働き、運転が停止します。このときは、次のようにしてください。



- ①「電源」ボタンに数秒間触れ続けて電源を切ります。
- ②電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③ボトルを本体から外してください。
- ④材料が大きかったら小さく切り直してください。
材料が多かったら減らします。
粘り気が多ければ水分を加えます。
- ⑤ボトルを本体にセットして、再び運転してください。

※材料を減らしてもたびたび止まることがあれば、お買い上げの販売店にご相談ください。

- [お願い]
- 定格2分以上の連続運転はしないでください。
 - ボトルが空の状態では運転させないでください。
 - 必ず、液体や水分の多い材料を入れてください。

ボトル内を減圧して調理した場合は、飲みかけのものをそのまま保存もできます。

※「真空」ボタンに触れてボトル内を減圧した後、冷蔵庫で保存してください。

※菌の増殖を抑える作用はありませんので、なるべく早めにお召上がりください。

※材料の組み合わせによっては、保存中に分離します。

※故障の原因となるため、ボトル内を減圧せずに調理したものは、そのまま保存しないでください。

お手入れ

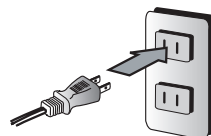
1 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際には電源プラグは必ず抜いてください。



警告

電源プラグをぬれた手で、抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



2 お手入れをする

本体

- 柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってからふいてください。
- 台所用中性洗剤などをご使用のときはその後必ず布に水(お湯)を含ませ、よくしぼってから拭き取ってください。そのあと乾いた布で拭いてください。

ボトル、ふた、パッキン ご使用のたびに洗ってください。

- 柔らかいスポンジなどで洗って、乾いた布で拭いてください。

カッター ご使用のたびに洗ってください。

- 本体からボトルを外して、手を触れないようブラシなどを使って流し洗いしてください。

3 お手入れ後は

水気が残らないよう十分に乾燥させて、湿気の少ない直射日光の当たらない場所に保管してください。



注意

- シンナー・ベンジンや磨き粉などを使わないでください。
変色・変質・劣化などの原因になります。
- カッターは鋭利なので直接手で触れないでください。
けがの原因になります。
- 食器洗い洗浄機や食器乾燥機で洗浄したり乾燥させないでください。
煮沸消毒もしないでください。
変形の原因になります。
- 漂白剤を使用しないでください。
変質や腐食の原因になります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

ボタンに触れても
運転しない

電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
→電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
真空カバーを取り付けていますか。
→真空カバーを取り付けてください。

本体が熱くなる

定格時間を超えたり、繰り返し使用していませんか。
→連続運転は定格時間を超えず、繰り返すときは本体を十分冷ましてからご使用ください。

使用中に運転が
止まる

材料が大きすぎたり、多すぎませんか。
→適度な大きさにして、MAXを超えないでください。
(P6参照)
調理できない材料ではありませんか。
→調理できない材料を取り除いてください。(P6参照)
※P10の「使用中に運転が止まったときは」を参照して、やり直してください。

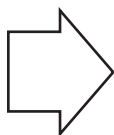
液が漏れる

パッキンが正しく入っていますか。
→正しくセットしてください。
ボトルが傾いて締められていたり、緩んでいませんか。
→確実に締めるようにしてください。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

こんな症状があったら

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- コードにきずがついたり、触れると動作しなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。



ご使用を中止し、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検をご相談ください。

仕様

電 源	AC100V・50/60Hz	消費電力	500W
本体寸法	約165×175×300mm		
本体質量	約2.0kg	電源コード長	1.5m
容 量	1000mL	定格時間	連続2分

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買上げの販売店で「お買上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間はお買上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

お客様ご相談窓口

お客様
0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・形名・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。